



## フェローインタビュー



3班フェロー  
城塚千絵

フェローになって良かったことは、まず17生と仲良くなれた事！夜の会議を含めて何度も会議があった事や、班員へのメール連絡は大変だったけど(>\_<)、オリキャンが終わった時は17生の班員が泣いてくれて、フェローをやって良かったと思いました

17生も頑張っしてほしいです！



~16生、オリキャンへの道~

楽しかったオリキャンの裏では、16生を中心に周到(?)な準備がなされていました！予想以上に煩雑な仕事内容に時には悩み衝突しつつも、みんなを支えたのは「成功させたい」という思い。そんな2005年オリキャンまでの内幕を、「裏オリキャン」として覗いてみましょう。





2年生スタッフの証・スタッフジャンパー(スタジャン)。着るだけで連帯感が感じられると共に、1年生にもスタッフが一目で分かって便利です。

今年は例年通りの白い生地に、ワインレッドのインクで右のイラストがバックプリントされていました。

INTEGRATED ARTS & SCIENCES (=総合科)で♥が形作られたデザイン。手違いで2年スタッフ全員に「フェロー」の刺繍が入ってしまい、交換作業が大変!なんていうアクシデントも起こりました。



## リハキャン

3/1~2

それまでの計画を、16生だけで実行に移すリハキャン。本番さながら一泊二日の中で、晴れ企画も雨企画もこなす強行スケジュール!ここで出た反省点や教訓が、新入生を迎える本番で活かされたのは間違いありません。



### アクシデント バスが止まった!

現地への山道が工事中でバスが通れず、歩いて登らされる人も。時間の予定も総崩れ!

### アクシデント 寒すぎる~!

昼企画のリハーサルは雪が降っていました...

## 前企画

オリキャンへの流れの一環として、新入生を班分けする前にそれぞれ交流してもらい、また大学生活のガイダンスなども行う前企画。花見・裏ガイダンス・新歓とイベントを分け、それぞれ企画担当者をつけて準備しました。

今年は春が遅く、花見当日に桜が咲いていない等のハプニングも...。しかし17生同士交流できるよう趣向を凝らしたゲームや、大学生活の生の声を伝えることで新入生の不安を減らせるガイダンスなどのおかげで、前企画の意義は十分だった様です。

この後17生もそれぞれ班に別れ、ダンス練習や班グッズ作りなど、オリキャン本番に向けて動き出していきます。

4/4→花見  
4/7→裏ガイダンス  
新歓

この他にも、地味な下準備やアクシデントなど、盛り込みきれなかったことがたくさんありました。動き回ったスタッフのみなさん、本当にお疲れ様でした!!!

(担当:16生 佐藤理沙)

難しかったね。

もりお それは連絡の具体的な役割分担を  
決めんかったけんやる。だから、情報共  
有の時間を定期的に作っとけば問題はな  
かったかなと思っただけど。

としお …… 作ったんやけど…。  
さんた 話し合いの場を決めるのが毎回每  
回急だったつてもあつて、話し合つた  
めの準備ができていない。何よりも、全  
員が揃わない！もう、みんな、起きろ！  
全員（笑）

P やっぱ、決まったことは必ず報告する、  
って前もって言うべきだったよな。  
もりお そいうことをするのが庶務と  
か…庶務よな。

さんた イマイチ機能せんかったな。  
さとり 情報が回ってこんかったからねえ。  
さんた まあね。だから、企画を立ち上げ  
る一番最初の段階から来ていれば問題な  
かったんよな。むしろ、総務に庶務を作  
って後付けするのではなく、企画の中に  
庶務係を作ればよかつたんだよ。

としお 物品もそうすれば良かったね。  
さんた 企画を考える時点で参加しとらん  
と置く物も分からんしな。

P まあ、何よりも16生は、フェローと企

画長が重なつたりして、一部の人に仕事  
が固まったというのが問題だよな。

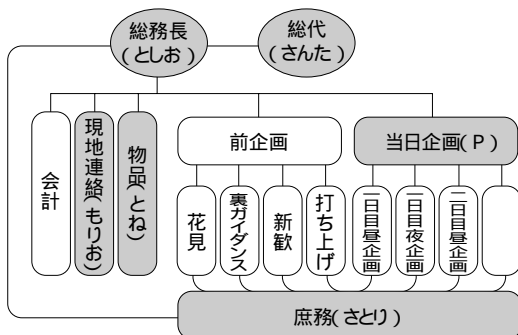
さんた あれは絶対変えんと難しい。分け  
んと動かんよ。実際。まあフェローと企  
画長のどっちを先に決めるかによつても  
違つよな。

さとり **まずは企画長！**

としお どちらかしか出来んことを示した  
上で決めたほうがええな。

さんた でもまあ終わつたからいいもの  
の、今回の人選はあれ以外に考えられん  
つて。

2005年オリキャン組織図 ※(括弧)内は反省会参加者



としお それは学年のカラーによるな。フ  
エラーと企画長が被るのはしゃあない部  
分はあるよな。

P 今回のオリキャンでは、「連絡の取り  
方が下手だった」ということが私的に一  
番問題だったと思うんだけど、みんなど  
う思う？

さんた 各企画長が自分達の判断を進めて  
いて、決まったことについての連絡がほ  
とんど総代・総務長まで来なかつたつて  
いうのはあるね。俺らも確認を取れば良  
かつたんだけど、実際、企画内容の状況  
が把握できていないから質問も出来んの  
よな。

P 各企画に任せていい部分と、こちら幹  
部が把握しないといけない部分の区別が

さんた スタッフの間の温度差は埋めれんて、やっぱり。

もりお うーん、それはどうだろう？元々温度差があるにはあるんだろうけど、やる前から一部だけで動いている感があるから温度差が生まれるんじゃないかな。

さとり 実際にすぐそう思うよね。情報を与えて考える機会を作れば、考える子は結構おる訳よ。そういう子を切り捨てちゃってる面はあるじゃん。

もりお 本人たちのやる気の問題もあるけど、情報が行ってるかっていったらほぼ行っていない。明らかに。

としお やっぱり、何ヶ月も前の段階で予定を入れさせるべきやな。

さんた それ。来てくれんとどうしようもないけえね。

とね 来れなかった人のフォローはしないの？

さんた ん、フォローするのは正直難しいんよな。

さとり でも今どれくらいまで進んでるっていつのを、何となくでも分かったら・・・。

さんた そうね。

さとり ちょっとは参加してる気持ちにな

れる。

全員 うーん・・・。

P やっぱり、うちら幹部が情報を与えられなかったっていつのはあるよね。

もりお まっ、何よりも17生に伝える事は、「早くね」っていつことなんよ。

全員(笑)



オリキャンの反省点を考え出すときりが無く、若干(かなり?)無駄話も交えつつも、意見が飛び交って誰が何を言ってるのか分からないほど熱く語りあった3時間でした。

さとり あのさ、オリキャンの目的って何だと思ってた？

とね ふれあい系

全員(笑)

さんた まず「一年同士が話せるようにし

よう」っていつのが多分俺らの中で一番

大きい目的よね。だからこそ一年生だけでやっている企画が多いはず。

P それは有効だったと思ってるけど、先生たちは違うんかね？

さんた つーか、学校側が考えているオリキャンの意味ってもっとはつきり教えてほしいよね。

P あと、本番までには先生たちと普通に話せるようになっていた方がいいね。

としお そのために、前もって顔を合わせる必要があんねんで。まあ先生たちと議題を持って話したりするべきやな。

さんた じゃあ、学祭が終わったら話し合い持てばいいじゃん。

もりお 早めにね。まあ要は引き継ぎだよな。来年度のオリキャンに干渉する気はないけど、ノータッチではなくてある程度16生が伝えていく必要があるやろ。

P だね。オリキャンでは次の代に繋げるっていつことが一番大事な事だろうね・・・。では、最後に。今年の良かった点を挙げてみてください！

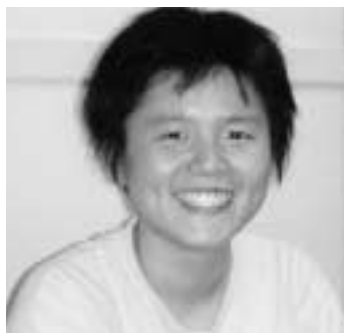
全員・・・(苦笑)

さんた 17生に聞いてください！

以上。16生反省会でした。

## 15生（兵法彩さん） インタビュー

16年度オリキャン総務長  
自主編成プログラム



「今年のオリキャンはスタッフの人数が多かったということが一番大きいだろかね。人数が多いほどスタッフ間の温度差はできやすいし、連絡も回りにくいってのはあるよね。だけど、まあスタッフが多いのが悪いとはいえないからね。やっぱりさ、スタッフをやりたいという気持ちは皆あるからやる訳だし。その、スタッフの中にある『企画に関わりたい』っていう気持ちは大事にしたいよね。」

スタッフ間の温度差って元々あるんだろけど、その元々ある差を広げたくないし、広げる必要は無いと思うんだよね。だから、スタッフが『何となくだけど企画に参加しづらい』っていうような、入りにくい場の雰囲気は作りたくないと思うな。」

あと、幹部の人は『話し合いに参加できなくて企画の内容が分からない人が、どうやったら内容を把握できるか』みたいな、そういうフオリって必要だと思うよ。」

オリキャンをやる上で大事になってくるのは、スタッフをやると決まった段階で、オリキャンを企画する側としてどこまで考えているか、だよ。やっぱり、一人一人が何かしようという意識を持ってスタッフをやるべきなんじゃないかな？絶対ひとつは仕事をしようっていう意識くらいはあつたほうがいいと思うな。」

## 先輩たちや先生にも聞いちゃいました

## 14生（仲野瞬さん） インタビュー

15年度オリキャン物品長  
創造科学プログラム



「今年の反省を聞くとき、連絡の取り方がまづかったんだろ。スタッフの間の意思疎通がちょっと希薄だったんじゃないかな。何というか、モチベーションの差が明確にできてしまったんだろ。でもそれって毎年あるよね。今年の反省にも出てたように、動かない人ってむしろ企画の状況を把握してないからこそ動けないんだよね。だから幹部の人達が、『動かない人たちをどういう風に動かすか』ということを考えることは必要だと思うな。」

あと、初めの段階でオリキャンに対する明確なビジョンが皆の間で共有されていけば良かったんだと思うよ。逆に、そういうことをインパクトのある形で下の学年の子たちに伝えていくことが大事なんじゃないかな。」

企画の中では先生たちへの配慮については、僕らの代も問題になったよ。そうだね・・先生たちがオリキャンに参加することの意味を考えて、先生たちが学生に伝えたいことを表現できる機会というのを作るといいかもね。」

何よりもさ、考える姿勢って大事よね。相手のことを配慮してっていう気遣いが見えることって大事なんじゃないかな。それって例えうまく表現できなかつたとしても、相手に伝わると思うんだ。オリキャンという企画を通して磨かないといけない事って、『人に対してどういう思いやりを持って動くのか』ということじゃないかなって僕は思うよ。」

## 関矢寛史先生 インタビュー



17年度オリキャン担当教員  
人間科学プログラム

オリキャンの目的というのは、特に人付き合いの苦手な人が、友達をたくさん作れるような機会であることと、『どうやってたら大学生活をうまく送れるか』という情報を得る機会であることの二つだと思っ  
てますよね。だから僕としては、オリキャンという企画が社会的なスキ  
ルを身につけるきっかけとなる場であってほしいですね。」

「一年生は一年生のためにすごく頑張っていたと思いますよ。ただ企画の内容として、体を動かしたり、人前で何かをしたりというような physical な活動が多かったと思います。そういう活動も必要だと思えますが、少人数で静かに考えるという moment な活動も必要だと思っ  
たんですね。『誰にでも楽しめる内容か』ということとを常に考えて、いろんな人の個性を光らせるような企画を考えて欲しいですね。  
あと、せっかく景色がすごくいい大自然の中に行くんだから、もっと自然と触れ合つとかね、景色を楽しむというような活動もしてみてもどうでしょうか? こういう機会だからこそ、使える環境を最大限に活かして欲しいですね。  
例えば、教職員に関して、教職員にしか出来ないような活躍の場というものをもっと作って欲しいと思います。  
そしてオリキャンで作った強いつながりを活かして、遊びだけでは終わらない、自主的な活動に繋げて欲しいと思いますね。」

## What's Orientation Camp?

### オリキャン反省会を終えて・・・

- オリキャンとは何か? -

オリキャンとは「人と人とのつながりをつくるきっかけとなる場」なのではないでしょうか? オリキャンという企画を通して様々な人と出会い、人とつながりをつくることは、自分の視野や考えが広がっていくことにきっと繋がると思えます。オリキャンに参加することで新たな発見が生まれてくるのではないのでしょうか。そのようなオリキャンだからこそ、これからの総科全体が繋がっていきけるような企画になってほしいと思います。

最後に、今回のオリキャン反省会を通して、今まで余り接点の無かった14・15生の先輩方や先生の意見を聞くことができ、企画者として運営している時には気づけなかったオリキャンに対しての視点や考えを学ぶことができました。協力してくださった方々、本当にありがとうございました。

(担当: 16生 土持李恵)